

Title: 「思い出だけ捨てればいいじゃない。」



大谷 可奈子
154センチ、45キ
ロ、A型、おうし
座。
すぎなのは、アジ
ア・インド・家族・
ネコ・カレー・すし
です。

● 最近のエントリー

- ☐ [テレビのドキュメンタリー](#)
(2008.05.21)
- ☐ [いざ台湾](#)
(2008.05.11)
- ☐ [よけいなことだらけ](#)
(2008.05.06)

● アーカイブ

- ☐ [2011年12月](#)
- ☐ [2011年02月](#)
- ☐ [2010年02月](#)
- ☐ [2010年01月](#)
- ☐ [2009年09月](#)
- ☐ [2009年07月](#)
- ☐ [2009年05月](#)
- ☐ [2009年04月](#)
- ☐ [2008年11月](#)
- ☐ [2008年10月](#)
- ☐ [2008年09月](#)
- ☐ [2008年05月](#)
- ☐ [2008年01月](#)
- ☐ [2007年12月](#)
- ☐ [2007年11月](#)
- ☐ [2007年10月](#)
- ☐ [2007年09月](#)
- ☐ [2007年08月](#)
- ☐ [2007年07月](#)
- ☐ [2007年06月](#)
- ☐ [2007年04月](#)
- ☐ [2007年03月](#)
- ☐ [2007年01月](#)
- ☐ [2006年12月](#)
- ☐ [2006年11月](#)
- ☐ [2006年10月](#)
- ☐ [2006年09月](#)
- ☐ [2006年08月](#)
- ☐ [2006年07月](#)
- ☐ [2006年06月](#)
- ☐ [2006年05月](#)
- ☐ [2006年04月](#)
- ☐ [2006年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2008年05月 アーカイブ

08.05.21

テレビのドキュメンタリー

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

無事台湾から帰国しました。

謝謝。

仕事で行くというのは初めての体験だったわけですが、
やっぱり色々と制約があって欲求不満気味であったことは否めないです。

まず技術さんの機材の重量の問題で、
航空運賃に超過料金がつきまくってしまうため
個人の私物は最小限に抑えなければならなくて
自分のカメラを持っていきませんでした。
まあ仕事で行ってるんだから全然自由時間もないし
どちらにしても写真を撮りにいけないからしょうがないけど、
とにかく、素敵なものがあるのに、
素敵な人がいるのに、
それを追っかけて写真を撮れないのはけっこうなストレスでした。(自分勝手。)

まあそれはいいとして、
今回初めてドキュメンタリー番組のロケに参加して現場を体験したわけですが、
写真とは全然違うんだなあと色々と思い悩みました。

私はとても馬鹿だから、なんでもやってみないとよくわからなくて、
言われただけでは全然わからなくて、
当然、考えただけではさっぱりわからないのです。

テレビのドキュメンタリーがどんなもんかってことは、
賢い人ならちょっと考えればわかるかもしれないけど、
私が実際体験してみても強く感じたことは、
写真と違って自由じゃないということです。

実際現場を目の当たりにして、
感じたままに撮ることはできません。
なぜかという台本があるからです。

なぜこちらで想定していたことと実際が違っても台本の方向性を簡単に変えられないかとい
うと、
局のプロデューサーとか色んな面倒くさい関係があるからです。

自分がその場に行って感じた気持ちを反映させることはほとんどできません。
そして撮影の進行はというと、
スケジュール面ではこちらの都合でまわりをぶんぶん振り回す感じだし、
演出の問題で、無理を行って動かないものを動かしてもらったり、
動いているものを止めてもらったり、
そこまで色々してもらったのにこちら側のスケジュールがカツカツで
ろくに取材相手と時間を過ごすこともできなかつたり。

とにかく色んな面で自由じゃないんだな、と思いました。
でもやっぱりテレビは、不特定多数の人が見ることができるとい
う最大の長所を持っていると思います。

一長一短といったところです。
ところで久々に行った台湾でしたが、
今回は番組の内容から鉄道関係者とたくさんお会いしたのですが、
台湾の方々はみんなにこやかで優しくかったです。

自分で日本語を勉強して話せるという人もいましたが、
お年寄りの方はたいてい日本の統治時代の日本語教育によって
日本語を習得しています。
そういうデリケートな問題もあり、
日本語が通じるからといって簡単には喜べませんが、
いつかまた台湾に渡るとしたら、現地の人の教育にも

かつて日本から台湾へ渡ったＳＬが、現地の人々の熱意によって今の時代に復活して元気に台湾を走っているというのはなんだかとても胸が詰まるような、嬉しい気持ちを与えてくれました。

こうやって大事にしてくれていた人達がいるんだなあ。
「またいらっしやい。今度は仕事じゃなくて、ＳＬに乗りきなさいね。」

本当に嬉しかった。
今度は個人的に、お世話になった人達の写真を撮りたいな。

ちなみに、現地でコーディネーターさんに手配してもらった移動用ワゴン車は、なんと『あいのり』台湾編のロケで使用されたというラブワゴンでした。あいのりのマークはなくなっていたけど、ピンクのボディはそのままになって、なんともかわいいロケ車でした。

とにかく！
仕事もいろいろ、旅に出たい！
やっぱり私はアジアの空気が好きで好きでたまらないんだ！！

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2008.05.21 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2008年05月 アーカイブ

08.05.11

いざ台湾

[Tweet](#)

いいね! 0

チェック

明日から仕事で台湾に行きます。
日本統治時代に台湾へ渡ったC12形SLを撮りにいきます。

フィールドワークで台湾へ行ったときはVISAを取得しませんでした。
ビジネス目的で行く場合は停留VISAというのが必要です。
写真入りの台湾VISAを入手しました。

パスポートは着々と埋まってきました。
フィールドワーカーにゃ負けないぜー！！

色々重いことも多いけれど、
パスポート見てひとりでニンマリしてるのだ。
ところで、今回は重大な使命を与えられている。
それは、SLの車内で乗客のインタビューを撮る事だ！

しかもインタビューすればいいだけではない。
ディレクターとカメラマンと音声さんは、外でSLの走行シーンを撮らねばならない。
なんてたってそのSL、2回しか走らないのだ。
だからディレクターたちと別行動で、
たった一人で車内に乗り込み、
インタビューする人を選んで、
ビデオカメラを準備して、
現場専用のマイクを取り付けて、
話す人用のピンマイクを用意して、
いざインタビュー

また別のいい人見つけて
また準備してインタビュー
すべてひとりぼっち！！

16日にSLが走る。
その日が私の本番。

今から緊張で死にそう。
うまくできますように。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2008.05.11 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2008年05月 アーカイブ

08.05.06

よけいなことだらけ

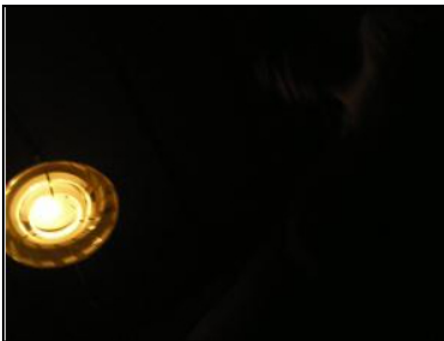
[Tweet](#)

いいね! 0

チェック







3期生が旅立っているというのに、
まだブログアップなんてしちゃっていいのだろうか。

まあいいか。
仕事でたくさんになったときに、
私なにやってんだろう？って思ったときに、
3期生のブログを読んでいます。
写真を撮らなくなりました。
そしたら、人と会わなくなりました。
自分と目の前のあなた。
そういう関係で全力で人と接することがなくなりました。
今ある人間関係は、
上司のために空いたグラスを探してウロウロ・・・
見つけたらすかさず注いで愛想笑い。
こんなのつまらない！やってられるかぁっ！
ってな感じで私は断固やらないが、
それを見ている先輩が私を見る目。
上司が私を見る目。

こういう余計なことに気をとられるのはすきじゃない。
へんな人間関係に巻き込まれるのも御免。
カメラを持って、レンズを向けて、
自分とあなたの一対一。
自分に心を開いてほしい。
写真を撮らせてほしい。
うまくいかないとき、
そんなときはなにかしら自分に原因がある。
私はあなたと同じところに立っているかしら？
私は一体どんな気持ちであなたを撮ろうとしたのかしら？
あなたは、あなたにレンズを向けた私をどう思っているのかしら？
私には今なにができるんだろう？
何をすべきなんだろう？

うまくいなくて悔しくて泣いたって、
やるせなくて悲しくたって、
そこでぶちあたった現実の中で
邪魔者のいない
自分と自分の一対一、
自分とあなたの一対一。
こういうのがシンプルでいい。
よけいなものは全部捨てちゃいたい。
それでもう一度
会ったことのない人に会いにいきたいの！

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2008.05.06 | [バナーリンク](#) | [トピックバック\(0\)](#)

Copyright 2007 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

powered by OLYMPUS